

第45号

発行：平成31年4月
会員数：190名(平成31年3月末現在)
(家族会員=17名、個人会員=173名)
発行責任者：飯田 秀
編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：
松阪市小野江町383
松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市の中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

(松阪市で検索してね)

会長の挨拶

会長 飯田 秀



平成の時代は、この4月末に終わり、5月からは元号が新しく変わります。今年、干支最後の「猪年」であり、最後が良ければ全て良しと云われますが、如何に今年は大事な年かという事です。

昨年は、松浦武四郎生誕200年にあたり、記念事業実行委員会に友の会を代表して関わり、武四郎の足跡を訪ねるツアーの担当責任者として取り組み、武四郎が晩年に登った「大台ヶ原」では、岩本泉治さんの道案内。大杉谷では大型の武四郎看板が建ち、除幕式に出席できたことに全員が感銘しました。

友の会設立10周年記念事業では、東京への一泊研修旅行ということで、染井霊園への墓参、国際基督教大学での一畳敷き見学、静嘉堂文庫での大首飾り拝見、神田五軒町練成公園での住居跡看板の確認、日本橋界隈にある松阪商人が創業したビル群の見物、更に三重テラスにも寄ることができました。

生誕200年記念事業実行委員会の北海道への3泊4日(6月25日～28日)の旅行では、滝上町・紋別市との交流会が催され、これを契機として渚滑川連携研究会との手紙による交流を図り、今後はお互いの活動についての情報交換を図って進行が深まればと思っています。また、根室市では歯舞諸島の多楽島の元住民との交流会もあり、北方4島の領土問題について理解が深まりました。

その他に知床半島や野付半島にも立寄ることができました。この様子は6月27日に北海道新聞社の取材を受け翌28日の新聞に掲載されました。

平成22年に北海道新聞社から贈って頂いた「エゾヤマザクラ」を記念館北側の広場に植えて育成管理に取り組んでいますが、北海道命名150年にあたり「エゾヤマザクラ」が松阪の地で育っていることを取り上げて頂き、友の会の活動の発信となったことは大変嬉しく思います。

私としては、多くの世話役も兼務している関係で、忙しい一年でしたが役員方達のご協力もあり、楽しくやりがいのある年でもありました。

会長としては、昨年、鈴鹿医療科学大学の学長様から、お話をお聴きした中で、心にゆとりを持ってこそ、何事にも取り組むことが出来ると教えられ、その気持ちを心に刻み、会員さん方のご協力を得ながら今年の事業に取り組んでいきたく思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

エゾヤマザクラについての経緯

当時、北海道新聞社では道内各地を桜の名所にしたいとの趣旨で「千本桜運動」として毎年合計千本を道内の希望する個人や団体に贈っておられました。

武四郎の久摺(くすり)日誌には蝦夷地探索中に弟子屈で泊まった際に、月夜に外へ出ると桜が咲き、そこへ雪が降る光景を歌に詠んでいます。その桜がまさにエゾヤマザクラです。

北海道以外に贈られることはなかったのですが、「武四郎さん」の生まれた土地だということもあり、当時経営企画室におられた武野伸二さんや藤原聡さんのご尽力で実現しました。

会員交流懇談会の中での意見

平成31年2月10日武四郎講座の後で、会員交流懇談会が開催され、沢山の提案・意見が出されました。主なものは下記の通りです。役員会で検討の上新年度の事業活動に活かしたいと思います。

☆松浦武四郎の足跡を訪ねる旅

○佐田天満宮及び菅原神社などを訪れたい

○友の会10周年記念事業で訪れた東京三鷹にあるICU

一畳敷きの見学がたいへんよかった

☆市政バスによる研修の実施計画を。

☆北海道地震義援金やウレシパクラブ支援金を友の会としてカンパしてはどうか

☆毎年11月に行われる大学駅伝に北海道から参加されるので、たれ幕などで応援してはどうか

☆講座で聞きたいこと

・武四郎の北海道地図作成について

・近世蝦夷人物誌について

・金田一京助、石川啄木、高橋北海道知事の話

☆記念館を遠方から訪れた方を中川駅まで送らせていただいたことで今も交流が続いている

☆太宰府天満宮に行く時、友の会の会員であることを事前に知らせたら、ご案内いただき神鏡も拝見できた

☆行政への要望

・レンタサイクルがほしい

多くの提案やご意見など、有難うございました！！



友の会への思いを語っていただきました

いつきのみや梅まつりで、友の会活動展示！！

「いつきのみや梅まつり」は、3月2日に斎宮歴史博物館南側の梅林周辺(ふるさと芝生広場)にて、開催され、約3000人の来場者がありました。

開会式の後、メイン会場では、業平夢太鼓、斎王の舞、マジックショーがあり、広場では、恒例の「梅の種飛ばし大会」、かわせみ座による紙芝居、ゆるきゃらプチ集合、チェリーボンボンによるチアダンス、めい姫ダンス、特産品の販売等が行われました。

友の会としては、テントをお借りして「友の会の活動展示」や、武四郎の業績の紹介を行うと共に、昨年(2018年=平成30年)は、武四郎が明治政府に対し蝦夷地の地名を「北加伊道」と提案して150年目になること、武四郎が生まれて200年の節目を迎えることなどの説明を行いました。

また、武四郎が大台ヶ原を拓いたことから、当時の大杉谷と武四郎の関わりや、昨年、大杉谷へ記念の看板が建てられたことなどの説明を行いました。

併せて、NHK札幌放送局制作の「永遠のニッパ」が、今年6月か7月頃に放映されることについても紹介しました。

武四郎役は、松本潤さん、アイヌの女性役は、深田恭子さんということでした。



友の会コーナーのにぎわい

斎宮歴史博物館『友の会』は、斎宮や斎王をめぐる歴史・美術・文学に興味を持っている方々の会です。

同会の事務局長である小林正剛さんが松浦武四郎記念館友の会の会員でもあることから、友好関係にあり、数年前から「いつきのみや梅まつり」に活動展示をさせて頂いています。



左=業平役、右=斎王役

「武四郎まつり」が賑やかに開催されました！！

平成31年2月24日(日)に第24回「武四郎まつり」が開催されました。参加されました会員の皆様、ありがとうございました。少し肌寒くはありましたが、風もおさまり、好天に恵まれて、松阪市内外からたくさんの方が来られました。

開会式の後、記念館前の特設舞台上で地元の三雲中学校による吹奏楽の演奏、小野江小学校の児童武四郎守り隊による武四郎学習の発表として劇「武四郎物語」が行われました。続いて、「武四郎が講談になりました！ところで講談って何？」と題して、河治和香さんと講談師宝井琴梅がトークショーをおこないました。



友の会コーナーで活躍いただいた皆さん

引き続き、まつりの目玉の一つである「札幌大学ウレシパクラブ」によるアイヌ古式舞踊が行われ、若者たちがアイヌ文化の未来の担い手として発信しました。

午後になって、三雲中学校生徒による踊り、たけちゃんとのジャンケン大会、松阪しょんがいソーラン、劇団ドラマシティによる時代劇「郷土の偉人・松浦武四郎～武四郎生誕200年記念3部作最終章」、しょんがい保存会などによる「松浦武四郎一代記」、最後にお菓子まきがありました。

記念館内及び入り口周辺では館内展示、武四郎クイズ・スタンプラリー、友の会の活動の展示などが行われました。

友の会としては、友の会の活動展示のほかにも、書籍の販売や会場の案内、武四郎の足跡について来場者に説明もしました。お手伝いいただいた方々にお礼申し上げます。

アイヌ文化体験交流会参加報告

武四郎まつりの前日(2月23日)に「みえこども城」においてアイヌ文化体験交流会が武四郎まつり実行委員会主催で開催されました。

内容は、札幌大学ウレシパクラブによる北海道のお話、アイヌ民族の踊り、アイヌ語(シシャモ、ラッコ、コンブなど)のカルタでのカルタ取りや踊りの体験については、来られた方も参加して楽しみました。



参加の皆さんと記念撮影

【記念館よりお知らせ】

☆記念館講座のご案内

※下記は予定ですので、変更になる場合があります

5月12日(日)10:00～ テーマ：「武四郎はなぜ馬角斎と号したか」講師：山本命（主任学芸員）

6月9日(日)10:00～ テーマ：「竹川竹斎と武四郎」講師：濱 博之

7月15日(月)13:00～ テーマ：未定（ドラマ放送を記念した講演）講師：未定

※会場は松阪市農業屋コミュニティ文化センターになる予定です。

8月11日(日)11:00～ テーマ：未定 講師：未定



4月1日から26日は、改修工事で展示品を見ることができません！

☆展示のご案内

◆武四郎の詩と歌 ～ 6月16日(日)まで

武四郎は数多くの和歌を詠んだ歌人でもあり、武四郎が詠んだ和歌を紹介します。

◆武四郎の生涯 6月18日(火) ～ 8月25日(日)まで

少年時代の家出の手紙から、蝦夷地の調査、晩年の活動へと、さまざまな資料から竹四郎の生涯を紹介します。

◆幕末を生きた武四郎 8月27日(火) ～ 11月4日(日)まで

幕末を生きた武四郎が、多くの志士たちと交わりながら、自らも志士として活動した姿を紹介します。

【友の会よりのお知らせ】

年会費の納入についてのお願い

新年度が始まりました。平成31年度の年会費を、**6月末までに納入して頂くよう**お願いいたします。講座の前に集金します。どうしても来ることが出来ない方は、役員又は記念館事務局へ。（個人会員500円、家族会員1000円です。）

「松阪の偉人たち」展について

松浦武四郎記念館友の会としては、武四郎の功績や友の会活動の展示をします。

期 間：平成31年7月3日(水)～7(日)

時 間：午前9時半～午後4時半

初日のオープニングセレモニーは

10時～10時半※最終日は午後3時まで

開催場所：松阪市文化財センター

第1～第3ギャラリー

「武四郎翁ゆかりの神鏡を訪ねるバスの旅」

期 間：令和元年5月27日(月)

午前8時～午後6時頃

行き先：佐太天満宮（神鏡拝見）、パナソニックミュージアム（見学）、菅原天満宮（参拝）

参加費：7500円(会員は500円引き)

申し込み締切：4月27日(土)

総会の予定

6月9日(日)の武四郎講座の後、11時頃から、平成31年度の総会を開催いたします。

多くの会員にご出席いただき、活発な意見・提案をいただきますようお願い致します。

友の会だよりの発行について

発行回数は年4回でしたが、3ヶ月に1回を4ヶ月に1回に変更し、年3回にさせていただきます。従って、次回の発行は、8月の予定です。



みんな、総会には来てね！